

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第66期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社オーテック
【英訳名】	OTEC CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 神馬 貢一郎
【本店の所在の場所】	東京都江東区東陽二丁目4番2号
【電話番号】	03(3699)0411
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理統括担当 二瓶 孝男
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区東陽二丁目4番2号
【電話番号】	03(3699)0411
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理統括担当 二瓶 孝男
【縦覧に供する場所】	株式会社オーテック 管材事業本部大阪支店 （大阪府大阪市西区立売堀五丁目8番8号） 株式会社オーテック システム事業本部横浜支店 （神奈川県横浜市西区高島二丁目5番12号） 株式会社オーテック システム事業本部中部支店 （愛知県名古屋市瑞穂区神穂町2番2号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第2四半期連結 累計期間	第66期 第2四半期連結 累計期間	第65期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	8,019,026	8,573,886	19,736,386
経常利益(千円)	196,169	75,927	949,173
四半期(当期)純利益(千円)	79,282	15,753	534,873
四半期包括利益又は包括利益(千円)	68,506	53,204	588,330
純資産額(千円)	8,601,651	9,080,325	9,121,475
総資産額(千円)	16,605,725	16,867,010	18,115,833
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	15.48	3.06	104.18
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	51.0	53.0	49.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	410,613	651,174	577,902
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	10,719	214,071	13,920
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	99,187	69,847	136,289
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	3,259,453	3,695,015	3,188,065

回次	第65期 第2四半期連結 会計期間	第66期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	12.53	18.32

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融緩和策の効果から輸出は持ち直し、企業収益に改善がみられたことから、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの事業に関連する建設業界は、公共投資が堅調に推移し、民間設備投資も回復傾向にあるものの、受注・価格競争の激化は継続しており、厳しい受注環境が続いております。

このような経済環境下でありまして、当社グループはグループ間の協調営業による受注拡大、原価管理の徹底による利益確保に重点を置いた活動に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は85億73百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。また、利益につきましては、営業利益は56百万円（同62.8%減）、経常利益は75百万円（同61.3%減）、四半期純利益は15百万円（同80.1%減）となりました。

なお、当社グループの工事業における売上高は、通常の営業形態として、第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きく、また、利益につきましても、第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に偏重し、各四半期連結会計期間の業績には季節の変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

管工機材販売事業につきましては、東京地区の売上減少と価格競争による売上高総利益率の低下により、売上高は41億56百万円（前年同四半期比1.7%減）となり、営業損失は1億6百万円（前年同四半期は営業損失33百万円）となりました。

工事業につきましては、受注工事高・完成工事高がともに堅調に推移し、売上高は42億21百万円（前年同四半期比19.2%増）となり、営業利益は2億54百万円（同0.7%減）となりました。

工事業における完成工事高は41億21百万円（前年同四半期比19.1%増）となり、新設工事が16億91百万円（同16.0%増）、既設工事が16億94百万円（同33.5%増）、保守工事が7億35百万円（同0.4%増）となりました。

また、工事業における受注工事高は69億44百万円（同18.1%増）となり、新設工事が29億61百万円（同11.6%増）、既設工事が26億45百万円（同40.2%増）、保守工事が13億36百万円（同0.1%減）となりました。

環境機器販売事業につきましては、売上高は1億96百万円（前年同四半期比21.4%減）となり、営業損失は2百万円（前年同四半期は営業利益12百万円）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比べ5億6百万円増加し、36億95百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は6億51百万円（前年同四半期比58.6%増）となりました。収入の主な要因といたしましては、税金等調整前四半期純利益75百万円、売上債権の減少額27億30百万円、未成工事受入金の増加額1億12百万円等であり、支出の主な要因といたしましては、たな卸資産の増加額7億86百万円、仕入債務の減少額10億51百万円及び法人税等の支払額3億53百万円等であります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億14百万円（前年同四半期は10百万円の使用）となりました。収入の主な要因といたしましては、定期預金の払戻による収入51百万円等であり、支出の主な要因といたしましては、定期預金の預入による支出2億39百万円等であります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は69百万円（前年同四半期比29.6%減）となりました。収入の主な要因といたしましては、短期借入れによる収入7億5百万円等であり、支出の主な要因といたしましては、短期借入金の返済による支出5億8百万円、配当金の支払額92百万円等であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	16,000,000
計	16,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,700,000	5,700,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	5,700,000	5,700,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		5,700		599,400		525,000

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(りそな銀行再信託分・JFE継手株式会社退職給付信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	1,005	17.63
オーテック従業員持株会	東京都江東区東陽2-4-2	539	9.45
株式会社オーテック	東京都江東区東陽2-4-2	527	9.24
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済 営業部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A (東京都中央区月島4-16-13)	420	7.36
オーテック共栄会	東京都江東区東陽2-4-2	260	4.57
アズビル株式会社	東京都千代田区丸の内2-7-3	250	4.38
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズド ストック ファンド (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ 銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582 (東京都千代田区丸の内2-7-1)	150	2.63
株式会社みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀 行株式会社)	東京都千代田区丸の内1-3-3 (東京都中央区晴海1-8-12)	135	2.36
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	120	2.10
株式会社大和バルブ	東京都品川区西品川1-2-8	120	2.10
計		3,527	61.87

(注) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(りそな銀行再信託分・JFE継手株式会社退職給付信託口)は、JFE継手株式会社が所有する持株数1,046千株のうち、1,005千株をりそな銀行株式会社へ委託した信託財産であります。

信託契約上、議決権の行使については、JFE継手株式会社が指図権を留保しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 527,100	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,172,600	51,726	同上
単元未満株式	普通株式 300	-	1単元(100株) 未満の株式
発行済株式総数	5,700,000	-	-
総株主の議決権	-	51,726	-

(注)「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式21株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社 オーテック	東京都江東区東陽 二丁目4番2号	527,100	-	527,100	9.24
計	-	527,100	-	527,100	9.24

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,395,545	4,898,000
受取手形及び売掛金	1, 2 6,708,355	1, 2 4,440,493
営業未収入金	1,836,078	1,343,389
有価証券	20,608	20,615
商品	392,504	397,295
未成工事支出金	1,240,322	1,998,930
原材料及び貯蔵品	22,717	40,467
繰延税金資産	165,883	159,577
その他	97,908	118,002
貸倒引当金	25,989	29,798
流動資産合計	14,853,936	13,386,972
固定資産		
有形固定資産	1,687,931	1,670,487
無形固定資産	80,228	71,486
投資その他の資産		
投資有価証券	745,800	804,134
その他	762,297	978,782
貸倒引当金	14,361	44,852
投資その他の資産合計	1,493,736	1,738,064
固定資産合計	3,261,896	3,480,038
資産合計	18,115,833	16,867,010

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 5,674,650	² 4,623,283
短期借入金	1,296,732	1,481,056
未払法人税等	360,029	68,948
未成工事受入金	501,987	614,838
賞与引当金	246,122	266,078
役員賞与引当金	37,500	18,000
完成工事補償引当金	23,110	14,590
工事損失引当金	5,900	28,600
その他	365,359	196,660
流動負債合計	8,511,392	7,312,055
固定負債		
長期借入金	54,664	46,636
繰延税金負債	89,131	90,715
再評価に係る繰延税金負債	132,393	132,393
退職給付引当金	6,962	7,291
役員退職慰労引当金	136,300	67,720
その他	63,514	129,872
固定負債合計	482,965	474,629
負債合計	8,994,357	7,786,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	599,400	599,400
資本剰余金	529,314	529,314
利益剰余金	8,385,021	8,307,662
自己株式	256,777	256,777
株主資本合計	9,256,958	9,179,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,412	134,228
土地再評価差額金	367,869	367,869
その他の包括利益累計額合計	267,457	233,641
少数株主持分	131,974	134,366
純資産合計	9,121,475	9,080,325
負債純資産合計	18,115,833	16,867,010

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	² 8,019,026	² 8,573,886
売上原価	6,621,083	7,204,460
売上総利益	1,397,942	1,369,426
販売費及び一般管理費	¹ 1,245,265	¹ 1,312,595
営業利益	152,676	56,830
営業外収益		
受取配当金	11,157	12,382
受取賃貸料	11,165	8,960
持分法による投資利益	9,571	-
その他	24,603	13,085
営業外収益合計	56,497	34,429
営業外費用		
支払利息	9,496	8,650
持分法による投資損失	-	2,295
その他	3,508	4,386
営業外費用合計	13,004	15,332
経常利益	196,169	75,927
特別利益		
固定資産売却益	-	332
特別利益合計	-	332
特別損失		
固定資産売却損	257	114
固定資産除却損	33	523
投資有価証券評価損	11,552	315
会員権売却損	1,232	-
会員権評価損	8,576	-
特別損失合計	21,651	952
税金等調整前四半期純利益	174,517	75,307
法人税、住民税及び事業税	66,868	64,896
法人税等調整額	22,738	8,957
法人税等合計	89,606	55,939
少数株主損益調整前四半期純利益	84,911	19,367
少数株主利益	5,628	3,614
四半期純利益	79,282	15,753

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	84,911	19,367
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,076	33,837
持分法適用会社に対する持分相当額	671	1
その他の包括利益合計	16,405	33,836
四半期包括利益	68,506	53,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,862	49,569
少数株主に係る四半期包括利益	5,643	3,634

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	174,517	75,307
減価償却費	52,548	42,367
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,588	34,300
賞与引当金の増減額(は減少)	32,517	19,955
役員賞与引当金の増減額(は減少)	19,800	19,500
完成工事補償引当金の増減額(は減少)	5,770	8,520
工事損失引当金の増減額(は減少)	9,800	22,700
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,268	1,090
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	54,040	5,970
受取利息及び受取配当金	12,417	13,712
支払利息	9,496	8,650
会員権評価損	8,576	-
持分法による投資損益(は益)	9,571	2,295
売上債権の増減額(は増加)	2,356,272	2,730,308
たな卸資産の増減額(は増加)	877,067	786,748
仕入債務の増減額(は減少)	1,445,343	1,051,366
未成工事受入金の増減額(は減少)	548,738	112,851
未払消費税等の増減額(は減少)	1,131	73,733
その他の流動負債の増減額(は減少)	29,000	95,869
その他	1,841	9,717
小計	736,309	996,628
利息及び配当金の受取額	13,589	15,715
利息の支払額	8,938	8,151
法人税等の支払額	330,346	353,017
営業活動によるキャッシュ・フロー	410,613	651,174
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	227,096	239,015
定期預金の払戻による収入	237,078	51,104
その他	20,701	26,159
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,719	214,071
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	560,000	705,000
短期借入金の返済による支出	380,000	508,000
配当金の支払額	76,960	92,944
その他	3,852	34,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	99,187	69,847
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	499,081	506,950
現金及び現金同等物の期首残高	2,760,372	3,188,065
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 3,259,453	¹ 3,695,015

【注記事項】

(追加情報)

(役員退職慰労引当金)

当社は、役員の退職による慰労金の支給に備えて、内規に基づく要支給額を計上していましたが、役員退職慰労金制度を廃止し、平成25年6月25日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金の打切り支給を決議しました。

なお、支給時期は各取締役及び監査役の退任時とし、当該総会までの期間に相当する役員退職慰労金相当額74,550千円を固定負債「その他」に含めて表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	204,327千円	152,043千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が前連結会計年度末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	244,349千円	- 千円
支払手形	498,079	-

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給与	435,301千円	452,126千円
賞与引当金繰入額	93,342	103,700
役員賞与引当金繰入額	15,500	18,000
退職給付費用	17,116	16,610
役員退職慰労引当金繰入額	11,410	5,970
貸倒引当金繰入額	2,588	34,300

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

2 当社グループの売上高は、通常の営業形態として、第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きく、各四半期連結会計期間の業績には季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	3,965,558千円	4,898,000千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	726,696	1,223,590
マネー・マネージメント・ファンド	20,591	20,605
現金及び現金同等物	3,259,453	3,695,015

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	77,053	15	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	93,111	18	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	管工機材 販売事業	工事業	環境機器 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上 高	4,228,075	3,541,106	249,844	8,019,026	-	8,019,026
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	39	-	1,115	1,154	1,154	-
計	4,228,114	3,541,106	250,959	8,020,180	1,154	8,019,026
セグメント損益	33,121	256,876	12,360	236,115	83,438	152,676

(注)1. セグメント損益の調整額 83,438千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	管工機材 販売事業	工事業	環境機器 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上 高	4,156,127	4,221,348	196,409	8,573,886	-	8,573,886
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	720	34	137	892	892	-
計	4,156,847	4,221,383	196,547	8,574,778	892	8,573,886
セグメント損益	106,954	254,997	2,678	145,363	88,533	56,830

(注)1. セグメント損益の調整額 88,533千円には、セグメント間取引消去 28千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 88,504千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	15円48銭	3円06銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	79,282	15,753
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	79,282	15,753
普通株式の期中平均株式数(株)	5,120,892	5,147,817

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

株式会社オーテック

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柳井 浩一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大黒 英史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オーテックの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オーテック及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。